



碧南ロータリークラブ週報

第2262回例会 平成17年3月30日(水) 晴. 最高13.5℃. 最低3.9℃

- 会長 池田 弘孝 ● 幹事 黒田 昌司 ● SAA 小笠原良治
- 例会日 毎週水曜日 12:30 ■ 例会場 碧南商工会議所ホール
- 事務局 碧南商工会議所内 〒447-8501 愛知県碧南市源氏神明町90
TEL <0566> 41-1100 FAX <0566> 48-1100
ホームページ: [http:// www.hekinan-rc.jp/](http://www.hekinan-rc.jp/)
E-mail: info@hekinan-rc.jp
- 会報委員 鶴田光久・杉浦昌裕・石川唯司・竹中 誠

ロータリーを
祝おう

100年の歩み

2004～2005年度
国際ロータリーのテーマ



● 斉 唱

ロータリーソング 「手に手つないで」

● 本日のメニュー

和風弁当 とんがり帽子



池田弘孝会長

会 長 挨拶

愛知万博も無事開場され、セントレアの開港とともにこの地方は恵まれた年であると言われていいます。名古屋城の鯨までおろして万博会場に開会式の3月24日に1日だけ展示されたようでもあります。もうすぐ桜も咲きお城見物が多い時期なのに、いつもと違ったお城を見るのは寂しい気がします。

お城と言えば、滝鍊太郎の名曲「荒城の月」が東京音楽学校編の「中学唱歌」のなかで出版されたのが1901年〈明治34年〉3月30日です。いまから104年前の今日です。当時は外国の曲に日本語詩をつけたものが主流だったのですが、教科書唱歌を改革しようということになり、土井晩翠作の「荒城の月」などの詩に曲を募集しました。滝鍊太郎は音楽学校を卒業したばかりの22歳の若さで「荒城の月」の他に「箱根八里」「豊太閤」と三曲がすべて応募作品の中で合格したそうです。

「荒城の月」は日本の名曲として海外にも有名で、いまになってもヨーロッパのホテルなどでは、日本に客と見ればサービスにこのレコードを流してくれるそうです。さすが日本の本格的作曲家一号だけのことはあると、言われています。賞金の15円は全部お汁粉に消えたと言うあたり天才の面目躍如といったところです。

土井晩翠が「荒城の月」のモデルにしたのは仙台の青葉城や会津の鶴ヶ城だそうですが、滝鍊太郎は大分の竹田市にある岡城をイメージした曲だと言われています。

「尾張名古屋は城で持つ」といわれているだけに、鯨のない名古屋城に寂しさを感じている一人です。

幹 事 報 告

他クラブの例会変更につきましては、お手元の資料をご参照して下さい。

碧南市友好親善協会より、平成17年度会員募集のご案内が届いております。



黒田幹事

委員会報告

〈出席奨励委員会〉

〈雑誌委員会〉

歌壇 青木 稔君

一片の温もりとなれ冬の日はがき一枚心こめて書く

〈ニコボックス委員会〉

- 縦山善久君 去る3月27日の碧南市消防団の入退式において碧南市消防団発足50周年を記念して市長様より感謝状をいただきました。ありがとうございます。
- 杉浦健次君 去る3月27日の碧南市消防団の入退式において碧南市消防団50周年を記念して市長様より感謝状をいただきました。有難うございました。
- 鈴木並生君 去る3月27日の碧南市消防団の入退式において碧南市消防団発足50周年を記念して市長様より感謝状をいただきました。ありがとうございます。
- 植松敏樹君 碧南市の公平委員を2期8年無事終了しました。ありがとうございます。
- 鈴木敏弘君 去る3月27日の碧南市消防団の入退式において碧南市消防団発足50周年を記念して市長様より感謝状をいただきました。ありがとうございます。
- 鈴木昭洋君 本日卓話の穴を埋める為つとめます。
- 石川春久君 去る3月27日の碧南市消防団の入退式において碧南市消防団50周年を記念して市長様より感謝状をいただきました。有難うございました。
- 石橋嘉彦君 去る3月27日の碧南市消防団の入退式において碧南市消防団50周年を記念して市長様より感謝状をいただきました。有難うございました。
3月27日の消防団入退式において予備隊を退隊させていただきました。
- 新美宗和君 鈴木昭洋さんに本日の卓話を急遽お願いしたところ、快く受けて頂きました。ありがとうございます。
- 新美真司君 平成17年度消防団入退団式も無事終了しました。ありがとうございます。
- 角谷信二君 3月27日消防団、予備隊入退団式で市長より感謝状を頂きました。又、子供が高校へ進学しました。
- 石川唯司君 平成17年度大浜上区長、本郷町町内会長を仰せつかりました。微力ですが区民の皆様方に少しでもお役立ちになればと思っております。宜しくお願い申し上げます。
早退5件 合計33,000円

総会員数 77名 (内出席免除者 15名) 出席者 66名

出席対象者 56/62名 出席率 90.32%

欠席者11名(病欠者0名) 前々回修正出席率 98.39%

※三週連続出席率100%の場合は記念品を差し上げます。

卓話

「ロータリー100周年と三笠」 会員 鈴木 昭洋君

皆さんがご存知のことで、今更申し上げることもございませんが、今年はロータリーが誕生して100周年です。又、日露戦争の分かれ目の日本海海戦で我が東郷平八郎司令長官率いる日本連合艦隊が、ロシアバルチック艦隊を撃滅した年でもあります。

その時の日本連合艦隊の旗艦「三笠」(みかさ)が、記念艦として神奈川県横須賀港に博物館として復元公開されていますので見て参りました。

その雄姿は立派なものでした。この艦はイギリスの造船会社に注文して造らせ、明治35年に日



鈴木昭洋君

本に到着した1万5千トンの戦艦です。我が日本連合艦隊・バルチック艦隊もそうですが、全部が石炭を焚いて走る蒸気船です。

いつの頃から石油で走るジーゼルエンジンになったかは私はよく知りませんが、この石炭をこぼれる程に積まなくてはならない蒸気船だったと言う事は、見学するこの時まで知りませんでした。



鈴木昭洋君

バルチック艦隊は北ヨーロッパ、バルト海を10月に出港してアフリカの喜望峰をまわって、翌年5月に九州の北、対馬沖にたどり着いた訳ですから、途中の寄港地で石炭を補給するのが、なかなか大変なことのようでした。ドイツの商社と契約して、港々で石炭を積む段取りはして来たのですが、なかなか簡単な事ではなかった様です。

海戦の勇ましい話は「Z」旗^{ゼット}でご存知でしょうが。さておきまして、そもそも当時の艦砲射撃と言うものは、いわゆる「敵艦見ゆ」から隊列をととのえた両艦隊が約1万メートルの距離に接近した時、大砲の有効射程距離になります。両艦隊が8,000メートルに接近した時、砲撃の火蓋を切ったのはバルチック艦隊の方でした。

船に乗った事の有る人なら想像出来ると思いますが、1万5千トンそこそこの船ではゴマ粒とはいいませんが、ほんの小さくしか見えません。大砲の命中率は10パーセントだったそうです。目測の照準器が置いてありましたが、今のレーダーやコンピューターの時代と違って、よほどの訓練の結果の10パーセントの命中率と言わなければならぬでしょう。

日本連合艦隊の中でバルチック艦隊の砲弾がいちばんたくさん命中したのは、この"みかさ"だそうです。数十発の砲弾でボコボコになっても、幸い心臓部への命中弾はなく、最後迄立派に旗艦の大役を果たしました。

当時は無線電信にいち早く着目して、大急ぎで研究開発して各艦に配備されました。これが相当の活躍をしました。今では衛星電話で地球のどこからでもモシモシと話が出来る時代ですが、その時の電信機の電波の致達距離は、わずか80海里(約120km)程だったそうです。

東郷元帥をはじめ、各参謀の秋山真之など、「坂の上の雲」をお読みにになった人にはご存知の通りですが、敵弾の命中する"みかさ"の艦橋に立ち、身じろぎもせず指揮に当たった高級士官も偉かった人には違いありません。超手動式の時代に猛訓練の上、10パーセントの命中率を出した砲手たちと、忘れてはならないのは、艦底のボイラーをふんどし1丁で石炭を焚き続けた火夫達^{かまたき}こそ真の英雄ではないでしょうか。

ロータリーが誕生して100年。日露戦争の勝利から100年、なんの因果もないとは言い切れない。勝ったことは心の中で静かに祝い、ロータリーの100周年は奉仕の活動を高めることで祝いましょう。

次回例会案内 平成17年4月13日(水)

卓話「二足のわらじと彩日会」

彩日会会長 生田文治郎氏
碧南美術会会長